

職員による自己評価

保護者による評価

A環境面  
多機能の為、定員が5名程度と十分なスペースが確保されていると思う。

B児童への支援内容  
実際のマンションを活用し家事療育など提供している。  
学習支援は、公文をとりいれ、学習支援も構造的、計画的に個別の身の丈に合った学習支援を提供している。

C関係機関との連携  
積極的にアプローチしているがコロナの関係で関係者と直接会うことが難しい環境になっている。

D保護者への説明責任・信頼関係  
送迎時に活動の説明を行い、連絡帳は日々提供している。

E非常対応  
避難訓練を実施した。

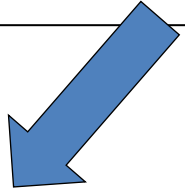
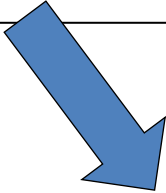
利用を開始して十分な時間もなく特にコメントはない。

実際のマンションを活用した落ち着いた雰囲気、子供は気にいっており、自分の居場所として楽しく活用している。

学習は、実績のある公文を採用しており、自分の身の丈に合った学習をするため、楽しく学んでいる。また、椅子に座っての学習、挨拶など療育に同時に学んでいる。

連絡帳は毎回実施して、保護者との連絡をおこなっている。また、保護者の希望に合わせて、面談を行っている、

避難訓練を実施したことは知らされているか、火災、地震などの詳細は受けて行けていない。



事業所内での分析

**【共通点】**  
家でも、学校でも、塾でもない自分たちの居場所として大切にしていきたい。雰囲気が落ち着いており、それぞれがリラックスして時間をすごしている。家事、調理療育など他ではない療育を提供していく。

**【相違点】**  
まだ、開所して間もないために、これから保護者との要望を取り入れていくようにしていく。長期休みの、時間割、プログラムなどについて、もっと詰めた計画をたてていく。

分析・検討してみて…

### 事業所の強み

実際のマンションを使用して、落ち着いた雰囲気と居場所の提供をしている。

調理、家事療育などを実際の状況で提供できている。

学習支援で、公文を取り入れており、個々にあった出発点から身の丈にあった学習を提供できている。同時に、学習を通して、学習に関する療育を提供して効果を出している。

### 事業所の改善点

実際のマンションのために、階下の人の心使いなどの作法が十分に羽位されていない。静かな雰囲気で集中できるプログラムが必要である。

### 事業所の改善への取り組み

- ① 避難訓練の充実と保護者との連携
- ② 保護者との効率良いコミュニケーションの確率
- ③ 特有の空間を使った療育の提供
- ④ 長期休暇のプログラムの充実

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ① 漠然と理解していた問題点が具体的に考えられるようになり、スケジュールまで落とし込む議論ができるようになった。
- ② 保護者より具体的な要望を聞くことができ、更なる改善について認識できた。
- ③ 避難計画について、もっと具体的な計画を作成するようになる。

事業所名 カルチャーズデイ反町

---

担当者 宮城敏浩

---